

東京電機大学同窓会

平成20年度総会

日 時 : 平成20年 4 月 26 日 (土) 午後3時00分～
会 場 : 神田キャンパス 7号館 丹羽ホール
(懇親会: 11号館17階大会議室)

【次第】

午後3時00分 パネルディスカッション「TDU次の100年に向けて」

パネリスト: 古田勝久 次期学長 脇 英世 工学部長
大園成夫 未来科学部長 井浦雅司 理工学部長
田窪昭夫 情報環境学部長

午後4時30分 同窓会総会

I. 校歌斉唱 東京電機大学グリークラブ

II. 同窓会会長挨拶 村田 耕治

III. ご来賓挨拶

学園理事長 加藤 康太郎 様

校友会理事長 岡田 榮一 様

IV. 総会議事

1. 平成19年度 事業報告

2. 平成19年度 決算報告および監査報告

3. 平成20年度 事業計画

4. 平成20年度 予算案

5. その他

午後5時30分 懇親会

会場: 11号館17階大会議室

午後7時00分 終了

19年度事業報告

1. 卒業生に対する活動

(1) クラス会開催の協力・支援

| | | |
|-------------|-------|-------|
| 単独クラス会 | : 21件 | |
| 合同クラス会 | : 6件 | |
| 学科別同窓会(縦の会) | : 4件 | 計 31件 |

(2) クラブOB会活動の協力・支援

| | | |
|----------|-------|-------|
| 単独クラブOB会 | : 11件 | |
| 合同クラブOB会 | : 2件 | |
| 単独研究室OB会 | : 11件 | |
| 合同研究室OB会 | : 4件 | 計 28件 |

(3) OB交歓会の開催

| | |
|-----|------------------|
| 開催日 | : 11月3日(土) |
| 場所 | : 神田キャンパス11号館17階 |
| 出席者 | : 約100名 |

(4) 縦の会(学科別同窓会)代表者交流会の実施

| | |
|-----|-----------|
| 開催日 | : 2月2日(土) |
| 出席者 | : 19名 |
| 場所 | : 校友会会議室 |

縦の会代表者交流会を、校友会会議室でおこなった。

同窓会の現状を報告するとともに、縦の会の現状報告、および今後の方策について意見を拝聴した。

また、各縦の会より同窓会幹事を推薦いただくよう要請を行った。

(5) 講演会・鳩山キャンパス見学会の開催

| | |
|-----|-----------------------|
| 演題 | : 「DNAの神秘」 |
| 講師 | : 田中真人 東京電機大学 理工学部 教授 |
| 開催日 | : 7月28日(土) |
| 出席者 | : 38名 |
| 場所 | : 東京電機大学鳩山キャンパス |

※工学情報に掲載するとともに、メールにて広報を行った。

(6) 旅行会の開催

| | |
|-----|-----------------------|
| 開催日 | : 11月17日(土)～18日(日) |
| 場所 | : 妙義山麓 磯部温泉 雀のお宿「磯部館」 |
| 出席者 | : 35名 |

※工学情報に掲載するとともに、メールにて広報を行った。

(7) 地方支部・県支部活動への協力

各地方支部総会が下記のとおり開催され、同窓会の役員が出席し、同窓会活動及び学園の近況報告を行うとともに地方会員との交流を図り、支部活動を支援した。

また、学園100周年記念事業への協力、同窓会及び校友会への協力についてもお願いをした。

【地方支部・県支部総会日程】

| | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 5月26日 | 埼玉県支部 | 10月27日 | 鹿児島県支部 |
| 6月2日 | 神奈川県支部 | 11月3日 | 福岡県支部 |
| 6月9日 | 千葉県支部 | 11月10日 | 三重県支部 |
| 6月16日 | 関西支部合同 | 〃 | 新潟県央電機 |
| 6月17日 | 岐阜県支部 | 11月17日 | 宮崎県支部 |
| 6月30日 | 石川県支部 | 11月22日 | 長崎県支部 |
| 7月7日 | 福井県支部 | 11月23日 | 佐賀県支部 |
| 7月14日 | 茨城県支部 | 12月8日 | 山陰支部 |
| 8月4日 | 青森県支部 | 12月15日 | 大分県支部 |
| 8月25日 | 新潟電機 | 3月15日 | 秋田県支部 |
| 10月20日 | 栃木県支部 | | |

(6) 広報活動の充実

①資料、議事録の公開

総会資料、幹事会・各委員会議事録等をデータ化し、ホームページに掲載、情報の公開に努めた。

②歴代大学同窓会長との交流

昨年度に引き続き歴代同窓会長経験者を、お一人ずつ幹事会にお招きし、交流を図った。内容はホームページに掲載した。本年度は川上様、柴田様の2名においていただいた。来年度も引き続き継続予定。

③校友会のしおり 製作協力

例年どおり大学、中学・高等学校、電機学校の各同窓会および校友会と合同で「校友会のしおり」を改訂し発行した。

④電子メールの活用

昨年度に引き続き、幹事会の連絡には電子メールを活用した。本年度において、電子メールの適用が進み、幹事会の会議開催連絡は、全て電子メールに切り替えた。事務局の作業効率が向上した。

⑤ホームページコンテンツの更新、改訂を実施した。

- ・工学情報OB会だよりに掲載されたクラス会等の報告を、「クラス会開催報告」ページに掲載した。ホームページでは写真をカラーで掲載しており、好評である。
- ・準会員支援委員会にて取材した、NHK大学ロボコン観戦記等の記事を「トピックス」ページに掲載した。
- ・大学及び大学同窓会が全く関与しない、「同窓名鑑」の案内をうたうダイレクトメールが同窓生に送付されている事実があったので、注意喚起のメッセージをトップページに掲載した。

2. 在校生に対する活動

(1) 丹羽賞・同窓会奨励賞の授与

| | | |
|-------|---------|------------|
| 11月3日 | 神田キャンパス | OB交歓会に於いて |
| 11月4日 | 鳩山キャンパス | 鳩山祭後夜祭に於いて |

工学部11件、理工学部6件、情報環境学部0件から合計17件の申請があり選考を行なった。なお、体育会本部、文化部会、学術研究会等での審議を経由し学生支援センターより申請されて来ている。

審議の結果、丹羽賞6件（1件5万円）および同窓会奨励賞6件（1件3万円）を選考した。（詳細は、別紙のとおり）

(2) 助け合い基金の運営

助け合い基金は約560万円の資金で同窓会が準会員を対象に1万円を限度とし短期貸出を行う制度である。
今年度は754件(約720万円)の利用があった。

(3) 卒業記念品の贈呈

昨年同様、3月18日武道館に於いて行われた卒業式で、学部卒に対して証書挟み(2000名)、大学院卒に対して丸筒(401名)を記念品として贈呈した。

(4) 学園祭、体育祭行事への補助

| | |
|-----------|----------|
| 合同体育祭(鳩山) | 5月13日 |
| 秋葉祭(千葉) | 10月7日 |
| 錦祭・鳩山祭 | 11月2日～4日 |

例年同様、上記のとおり開催され、同窓会から役員が出席し、表彰、賞品の授与および補助を行うとともに、在校生との交流を図った

(5) イベント等参加への支援

今年度は、次のイベントに補助を行った。

- ・NHKロボットコンテスト
- ・燃料電池コンテスト
- ・エコノパワー競技会 アドバンスワークショップ
- ・エコノパワー競技会 エネルギー研究会
- ・スターリングエンジン競技会
- ・大学院論文発表会

3. 母校に対する活動

(1) 卒業生による就職セミナーの開催

| | |
|--------|----------------------------------|
| 開催日 | 2月9日(土) |
| 場所 | ホテルグランドパレス |
| 参加企業 | 243社(579名) |
| 参加学生 | 約1500名 |
| その他参加者 | 131名 同窓会(19名)・大学(95名)・後援会関係(17名) |

1企業当たりの面談学生数は約17.7名

1学生当たりの面談企業数は3.8社であった。

このセミナーが、学生および企業にとって有意義なものであることを再確認した。

(2) Home Coming の集い(卒業生招待会)への協力

今年度は12月1日(土)九段下のホテルグランドパレスにて学園主催で開催された。

対象は、昭和17年から5年ごとの大学・大学院・短大の卒業生で362名が集まり、同窓会から、会長および該当卒業年の役員、幹事が出席し、同窓会への協力要請を行った。

4. その他の活動

(1) 総会・参与会・幹事会等の開催

平成19年度同窓会総会を4月7日に開催し、平成18年度事業報告、決算報告及び監査報告、19年度事業計画、及び予算案、役員改選の件を審議し承認された。

また、下記の日程で幹事会・役員会・参与会・歴代会長会等を開催し、同窓会の活動、およびその内容について審議を行った。

| | |
|--------|-------|
| 幹事会 | 役員会 |
| 5月22日 | 4月23日 |
| 6月27日 | 5月16日 |
| 9月27日 | 7月19日 |
| 10月25日 | 2月2日 |
| 1月24日 | 3月13日 |
| 3月19日 | |
| 参与会 | 縦の会 |
| 7月28日 | 2月2日 |
| 歴代会長会 | |
| 2月19日 | |

この他、各委員会を適宜開催し活動を行った。

(2) 校友会の運営に参画

例年同様、同窓会会員が校友会理事・監事として参画し、校友会活動に協力した。

(3) 中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会等との交流

次の日程で、各会の総会が行われ、当会から役員が出席し交流を図った。

| | |
|--------------|-------|
| 電機学校同窓会総会 | 4月14日 |
| 商工懇話会総会 | 4月21日 |
| 中学・高等学校同窓会総会 | 5月12日 |

三同窓会連絡会（大学同窓会、電機学校同窓会、中学・高等学校同窓会）を1月18日に開催し、情報を交換すると共に、今後とも3同窓会の協力体制を維持していくことを確認した。

(4) 規定の改定

- ・慶弔規定改定 平成19年10月25日 幹事会にて承認
- ・丹羽賞規定改定 平成19年10月25日 幹事会にて承認
- ・6月28日、助け合い基金見直しのため、学生支援センターからのヒアリングを実施した。

以上

平成19年度丹羽賞等授賞団体

＜丹羽賞授賞団体（6団体）5万円＞

☆神田キャンパス 文化部会 コーストジャズオーケストラ部（人数47名）

他大学との合同イベントである「NTTだいよジャズナイト」「SSROCジョイントコンサート」「はまちコンサート」に参加し、また学校行事である「錦祭」「秋葉祭」でも演奏を行った。また、9月11日の「創立100周年記念イベント」では質の高い演奏を行い学生・教職員を魅了した。創部40周年を迎えて、益々充実した活動を行っている。

☆神田キャンパス 体育会 少林寺拳法部（人数33名）

「少林寺拳法全国大会」一般三段の部4位、「少林寺拳法全日本学生大会」女子有段単独の部4位、男女弾効単独の部5位など全国でも通用する活躍を見せ、又「少林寺拳法関東学生大会」などの関東希望の大会においても優勝を含む目覚ましい成績を残している。神田キャンパス体育会の中でももっとも優秀な成績を残している団体である。

☆神田キャンパス 体育会 バドミントン部（人数18名）

平成18年関東大学バドミントン秋季リーグ第6部において優勝し、その後の入れカイエ線で敗退してしまったが、平成19年春季リーグ第6部においては優勝し、又入れ替え戦でも勝利し、見事第5部に昇格することが出来た。日ごろから熱心に練習を行い、様々な大会に出場し、活躍を見せている。

☆神田キャンパス 学術研究部会 オーディオ技術研究部（人数27名）

今年で創部50年を迎える伝統ある団体であり、長年地道にスピーカー、アンプなどのオーディオ製品を製作し続けている。又「秋葉祭り」「錦祭」などの学校行事や、「学術研究発表会」などにおいても、自作の製品を展示している。

☆理工学部体育会 アーチェリー部（人数35名）

理工学部創設時から設立されている伝統あるクラブであり、今年も「全日本学生選手権」などの大会に出場するなど、日々活発な活動を行っている。

☆理工学部体育会 空手道部（人数7名）

創立30周年を迎える伝統あるクラブであり、日々稽古に精進している。2006年開催の「全国和道流大会」（出場校10校）において団体組手第6位となるなどの成績を残している。

＜同窓会奨励賞授賞団体（6団体）3万円＞

☆神田キャンパス自治会 放送委員会（人数23名）

毎年夏・冬に開催されるOMEC（Opened Media Entertainment Circles）において、平成19年度夏季OMEC大会ドラマ部門で部員が準優勝を獲得した（亀井大学：駒沢・聖徳・千葉・帝京・東京経済・東京理科・法政・電大）。また、9月11日の創立100周年記念イベントにおいて、プロモーションビデオを作製し、好評を博した。

☆神田キャンパス文化部会 舞踏研究会（人数31名）

年間を通じて関東・全国規模の大会に出場し、それぞれの個人・団体において活躍をしている。特に「東部日本学生協議ダンス選手権大会に部千」においては団体2位となるなどの好成績を残した。その他にも「全日本学生協議ダンス選手権大会」では、ルンバ部門で3位となるなど、全国の大学を相手に優秀な成績を残している。

☆神田キャンパス文化部会 メディア研究会（人数32名）

毎年多くのイベントに参加するため日々番組制作を積極的に取組んでいる。平成18年12月にはかんだキャンパス庭ホールで「冬季番組発表会」、平成19年9月には「秋季発表会」を実施し、それぞれ他大学から256名、182名を集め、多くの方からの一定の評価を得た。

☆神田キャンパス学術研究部会 自動制御研究部（人数42名）

学術研究部会の中でも特に精力的に活動している団体であり、平成19年8月に実施された「第14回川崎ロボット競技大会」において14台出場し、内1台が「tmcシステム賞」を受賞するという活躍を見せ、本学の奈を知らしめた。その他、「秋葉祭り」「錦祭」などでも質の高いロボットを製作し、多くの来場者を魅了している。

☆理工学部体育会 軟式野球部（人数24名）

2006年11月開催の「東日本大学軟式野球選手権大会」において、初出場ながら教護を殴り第4位となるなど目覚ましい活躍を見せた。又2007年開催の「主と大学軟式野球春リーグ」においても11口中第5位となるなどの活躍をし、今後とも多様な飛躍が期待されている。

☆理工学部体育会 少林寺拳法部（人数49名）

2006年11月解しあの「全日本学生大会」において、男女処断の部において敢闘賞を受賞し、2007年5月開催の「関東学生大会」においても運用法女子の部で最優秀賞を獲得、男女弾効の部・男女処断の部でも敢闘賞を獲得するなど活躍をしている。

※今年度においては、情報環境学部からの推薦団体は無し

収 支 決 算 書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:円)

| 収 入 の 部 | | | |
|---------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 前期繰越金 | 1,243,031 | 1,243,031 | 0 |
| 平成18年度卒業生会費 | 8,100,000 | 8,664,000 | △ 564,000 |
| その他の収入 | 3,116,000 | 3,132,003 | △ 16,003 |
| 大学後援会補助金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 |
| 受取利息 | 5,000 | 11,003 | △ 6,003 |
| 丹羽基金利息 | 11,000 | 11,000 | 0 |
| 雑収入 | 100,000 | 110,000 | △ 10,000 |
| 当期収入合計 | 12,459,031 | 13,039,034 | △ 580,003 |

| 支 出 の 部 | | | |
|---------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 科 目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 事業費 | 10,200,000 | 8,908,199 | 1,291,801 |
| クラス会・OB・OG会 | 2,200,000 | 1,768,400 | 431,600 |
| 縦の会活動補助金 | 700,000 | 383,981 | 316,019 |
| 講演会・研修会等 | 500,000 | 414,657 | 85,343 |
| 支部会 | 1,100,000 | 981,310 | 118,690 |
| 広報活動 | 400,000 | 298,653 | 101,347 |
| 丹羽賞・同窓会奨励賞 | 500,000 | 480,000 | 20,000 |
| 卒業記念品 | 700,000 | 719,649 | △ 19,649 |
| OB交歓会 | 400,000 | 400,000 | 0 |
| 就職セミナー | 3,200,000 | 3,196,549 | 3,451 |
| 準会員援助金 | 500,000 | 265,000 | 235,000 |
| 会議費 | 1,600,000 | 1,430,617 | 169,383 |
| 総会 | 800,000 | 656,009 | 143,991 |
| 幹事会 | 350,000 | 354,607 | △ 4,607 |
| 役員会 | 150,000 | 120,240 | 29,760 |
| 参与会・歴代会長会 | 100,000 | 90,520 | 9,480 |
| 委員会 | 200,000 | 209,241 | △ 9,241 |
| 消耗品費 | 50,000 | 35,248 | 14,752 |
| 通信費 | 50,000 | 15,330 | 34,670 |
| 雑費 | 10,000 | 865 | 9,135 |
| 慶弔費 | 100,000 | 35,750 | 64,250 |
| 予備費 | 449,031 | 0 | 449,031 |
| 次期繰越金 | | 2,613,025 | △ 2,613,025 |
| 当期支出合計 | 12,459,031 | 13,039,034 | △ 580,003 |

資 産 表

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 |
|----------------------|------------|
| 現金 | 257,118 |
| 普通預金(三菱東京UFJ銀行) | 2,355,907 |
| 普通預金(三菱東京UFJ銀行・丹羽基金) | 500,000 |
| 公社債投資信託(丹羽基金) | 1,500,000 |
| 定額郵便貯金 | 10,000,000 |
| 助け合い基金 | 5,677,757 |
| 合 計 | 20,290,782 |

助け合い基金会計収支決算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:円)

| 収 入 の 部 | | 支 出 の 部 | |
|---------|-----------|---------|-----------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 前期繰越金 | 5,592,675 | 事務経費 | 0 |
| 手数料収入 | 78,500 | 回収不能金 | 0 |
| 預金利息 | 6,582 | 次期繰越金 | 5,677,757 |
| 合 計 | 5,677,757 | 合 計 | 5,677,757 |

平成19年度監査結果

会計監査の結果、正確かつ適正に処理されていることを認める。

平成20年4月7日

会計監査 三井和幸 (印)

会計監査 あべ 次 (印)

平成20年度事業計画（案）

I. 卒業生に対する活動・支援

1. クラス会、クラブOB会等の開催支援
○小金井寮・武蔵野寮のOB会の設立支援
2. 縦の会（学科別同窓会）等の開催および設立の支援
3. 地方支部・県支部等への支援
4. OB交歓会の開催
5. 講演会、親睦旅行会等の開催
6. 卒業生の再就職支援
7. Home Comingの集いへの支援、協力

II. 在校生に対する活動・支援

1. 丹羽賞・同窓会奨励賞の選考、授与
2. 助け合い基金の運営
3. 卒業記念品の贈呈
4. 学園祭、体育祭行事等への支援
5. イベント等への参加支援
6. 卒業生による就職セミナーの開催

III. 母校に対する活動・支援

1. 100周年記念募金への支援

IV. その他の活動

1. 広報活動の充実、ホームページの管理運営
2. 参与会、歴代会長会、幹事会の開催
3. 校友会の運営に参画、校友会100周年記念事業への支援
4. 中学・高等学校同窓会、電機学校同窓会等との交流
5. 大学後援会との交流

平成20年度予算案

(単位：円)

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|-------------------|------------|------------|-------------|------------|------------|
| 科 目 | 前年度予算額 | 今年度予算額 | 科 目 | 前年度予算額 | 今年度予算額 |
| 平成20年度卒業生会費 | 8,100,000 | 8,400,000 | 事業費 | 10,200,000 | 10,650,000 |
| その他の収入 | 3,116,000 | 3,116,000 | クラス会、OB・OG会 | 2,200,000 | 2,200,000 |
| 大学後援会補助金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 縦の会活動補助 | 700,000 | 700,000 |
| 受取利息 | 5,000 | 5,000 | 講演会、旅行会等 | 500,000 | 700,000 |
| 丹羽基金利息 | 11,000 | 11,000 | 支部会 | 1,100,000 | 1,100,000 |
| 雑収入 | 100,000 | 100,000 | 広報活動 | 400,000 | 400,000 |
| 前期繰越金 | 1,243,031 | 2,613,025 | 丹羽賞・同窓会奨励賞 | 500,000 | 500,000 |
| 会費 | | | 卒業記念品 | 700,000 | 850,000 |
| 4000円×2100名=840万円 | | | OB交歓会 | 400,000 | 400,000 |
| | | | 就職セミナー | 3,200,000 | 3,300,000 |
| | | | 準会員援助金 | 500,000 | 500,000 |
| | | | 会議費 | 1,600,000 | 1,600,000 |
| | | | 総会 | 800,000 | 800,000 |
| | | | 幹事会 | 350,000 | 350,000 |
| | | | 役員会 | 150,000 | 150,000 |
| | | | 参与会・歴代会長会 | 100,000 | 100,000 |
| | | | 委員会 | 200,000 | 200,000 |
| | | | 消耗品費 | 50,000 | 50,000 |
| | | | 通信費 | 50,000 | 50,000 |
| | | | 雑費 | 10,000 | 10,000 |
| | | | 慶弔費 | 100,000 | 100,000 |
| | | | 予備費 | 449,031 | 500,000 |
| | | | 次期繰越金 | | 1,169,025 |
| 合 計 | 12,459,031 | 14,129,025 | 合 計 | 12,459,031 | 14,129,025 |

東京電機大学 学部・学科 新旧表

| 学部 | 旧学科 | 新学科 | | |
|------------------|----------------------------|------------------|--------------|--------------------|
| 工学部 | 電気工学科 | 電気電子工学科 | | |
| | 電子工学科 | | | |
| | 情報通信工学科 (電気通信工学科) | | | |
| | 機械工学科 | 情報通信工学科 | | |
| | 機械情報工学科 (精密機械工学科) | | | |
| | 環境物質化学工学科 (物質工学科) (応用理化学科) | | | |
| | 建築学科 | 機械工学科 | | |
| | 情報メディア工学科 | | | |
| | 未来科学部 | 電気工学科 | 電気電子工学科 | |
| | | 電子工学科 | | |
| 機械工学科 | | | | |
| 情報通信工学科 | | 情報通信工学科 | | |
| 社会人コース | | | | |
| 建築学科 | | | | |
| 理工学部 | 数理学科 | サイエンス学系 | | |
| | 情報科学科 | | | |
| | 情報システム工学科 (経営工学科) | | | |
| | 建設環境工学科 (建設工学科) | 情報システムデザイン学系 | | |
| | 知能機械工学科 (産業機械工学科) | | | |
| | 電子情報工学科 (応用電子工学科) | | | |
| | 生命工学科 | 創造工学系 | | |
| | 情報社会学科 | | | |
| | 情報環境工学科 | | | |
| | 情報環境デザイン工学科 | | | |
| 情報環境学部 | 情報環境工学科 | 情報環境学科 | | |
| | 情報環境デザイン工学科 | | | |
| | 環境化学科 | | | |
| | 新学科 | エコエネルギーコース | 電気電子工学科 | |
| | | ヒューマンエレクトロニクスコース | | |
| | | エレクトロデバイスコース | | |
| | | 情報環境学部 | 機械システムコース | 情報通信工学科 |
| | | | 精密システムコース | |
| | | | 環境化学科 | |
| | | | 情報環境学部 | 電気電子工学科 |
| 機械工学科 | | | | |
| 情報通信工学科 | | | | |
| 情報環境学部 | | | | 社会人コース |
| | 建築学科 | | | |
| | 情報メディア工学科 | | | |
| | 情報環境学部 | | | ロボット・メカトロニクス学科 |
| | | 数理学科 | | |
| | | 物理学コース | | |
| | | 情報環境学部 | | 化学コース |
| | | | 数理解情報学コース | |
| | | | コンピュータ科学コース | |
| | | | 情報環境学部 | コンピュータソフトウェアコース |
| ネットワークシステムコース | | | | |
| 社会コミュニケーションコース | | | | |
| 情報環境学部 | | | | アミューズメントデザインコース |
| | 都市デザインコース | | | |
| | 建築デザインコース | | | |
| | 情報環境学部 | | | 電子機械コース |
| | | 知能機械コース | | |
| | | 生命科学コース | | |
| | | 情報環境学部 | | 生物環境コース |
| | | | 生体電子情報コース | |
| | | | 医用・機械システムコース | |
| | | | 情報環境学部 | ネットワーク・コンピュータ工学コース |
| 先端システム設計コース | | | | |
| メディア・人間環境デザインコース | | | | |
| 情報環境学部 | | | | コミュニケーションデザインコース |
| | 先端システム設計コース | | | |
| | メディア・人間環境デザインコース | | | |